

科 目 名	運動器系理学療法学【理学】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	田 中 真 一・満 丸 望						
開 講 年 次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必 修（理学）
授業の概要 及びねらい	外傷、変形性関節症を中心とした運動器疾患の病態、原因、予後を学習するとともに解剖学、運動学に基づいた理学療法を考える。また、各疾患のリスク管理についても考える。						
授 業 の 到達目標	1）各運動器疾患について理解し、その特徴を述べることができる。 2）各運動器疾患の理学療法においてリスク管理を理解する。 3）肩関節の運動器疾患の病態と理学療法の思考過程を理解し、説明できる。 4）肘関節の運動器疾患の病態と理学療法の思考過程を理解し、説明できる。 5）手関節・手指の運動器疾患の病態と理学療法の思考過程を理解し、説明できる。 6）脊椎の運動器疾患の病態と理学療法の思考過程を理解し、説明できる。 7）股関節の運動器疾患の病態と理学療法の思考過程を理解し、説明できる。 8）膝関節の運動器疾患の病態と理学療法の思考過程を理解し、説明できる。 9）足関節・足部の運動器疾患の病態と理学療法の思考過程を理解し、説明できる。						
学 習 方 法	講義						
テキスト及 び参考書等	ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション（羊土社）						
評 価 基 準 ・ 方 法		到達 目 標					評価割合%
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現		
定期試験		◎	◎				100
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計							100
(表中の記号 ◎評価する観点 ○評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	運動器疾患の理学療法（総論）						
第 2 週	肩関節の疾患と理学療法①						
第 3 週	肩関節の疾患と理学療法②						
第 4 週	肘関節の疾患と理学療法						
第 5 週	手関節・手指の疾患と理学療法						
第 6 週	頸部周囲の疾患と理学療法						
第 7 週	胸・腰部の疾患と理学療法①						
第 8 週	胸・腰部の疾患と理学療法②						
第 9 週	股関節の疾患と理学療法①						
第 10 週	股関節の疾患と理学療法②						
第 11 週	膝関節の疾患と理学療法①						
第 12 週	膝関節の疾患と理学療法②						
第 13 週	膝関節の疾患と理学療法③						
第 14 週	足関節と足部の疾患と理学療法①						
第 15 週	足関節と足部の疾患と理学療法②						
第 16 週	試験						
備 考	授業外学習（事前学習・事後学習）の指示:整形外科学を復習しておくこと						